

## 第20回JANSセミナー

# オープンサイエンスの進展と看護学の未来 ：オープンデータを看護学研究へ

第20回JANSセミナーは新型コロナウイルス感染の状況を考慮し、Web受講といたします

- **申し込み**：2022年6月27日（月）正午～9月22日（木）  
JANSホームページからお申し込み下さい。
- **参加費**：会員無料、非会員2000円、  
看護基礎教育課程（大学、短期大学、専門学校等）の学生無料
- **配信期間**：2022年6月27日（月）正午～9月26日（月）  
申し込み確認後、受講サイトURLをご案内いたします

## 開催趣旨

新型コロナウイルス感染症流行の影響で、新たなデータ収集が困難となった研究者も少なくないと思います。データアーカイブは、多大な時間と労力、費用を投じて収集された統計調査や社会調査などの個票データを公共的な研究資源として保管し、二次的利用を希望する研究者に提供するものです。データアーカイブやオープンデータの活用は、データからの知の生産性を高め、看護学研究に新たな展開をもたらすと期待されます。

本セミナーでは、より開かれた研究活動（オープンサイエンス）や一般市民との研究活動（シチズンサイエンス）といった研究をめぐる最新の潮流を解説していただき、その上でデータアーカイブの意義や仕組み、運用、データの寄託及び利用に必要な手続きをご説明いたします。そして、アーカイブデータ、コホートデータやナショナルデータなどのオープンデータ・セミオープンデータを活用した研究を行った研究者から、実際の研究事例をご紹介します。

本セミナーが、皆さまのご研究でオープンデータが活用される可能性を高め、皆さまのご研究に新たな選択肢をもたらすことを願っております。

## 配信内容

司会 武村雪絵・小池智子(研究・学術推進委員)

### 講演1:オープンサイエンスの潮流と科学、社会、科学と社会の変容

講師:林 和弘 先生 (文部科学省科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室 室長)

### 講演2:日本における社会科学データアーカイブ

講師:三輪 哲 先生 (東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター教授)

### 講演3:

3-1:きょうだい構成が教育達成に与える影響についての二次分析—SSJDAを利用した研究事例

講師:苫米地 なつ帆 先生(大阪経済大学 情報社会学部 情報社会学科 准教授)

3-2:日本老年学的評価研究(JAGES)のセミオープンデータを活用した社会疫学・介護予防研究

講師:辻 大士 先生(筑波大学 体育系 助教)

3-3:低中所得国の国レベルのデータを用いた母子保健の研究事例

講師:池田 すばる 先生(九州大学大学院医学研究院保健学部門 学術研究員)

ディスカッション:オープンサイエンスのポテンシャル

# 講師紹介

## 林 和弘先生



### 文部科学省科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室 室長

1995年ごろより日本化学会の英文誌の電子ジャーナル化と事業化をきっかけに、学術情報流通の変革を軸とした科学、社会、科学と社会の変容（オープンサイエンス）の調査研究と実践に取り組む。2012年より文部科学省科学技術・政策研究所に着任し、政策科学研究に取り組む。オープンサイエンスのあり方と政策づくりに関する調査研究とその実践に取り組み、日本学術会議、内閣府、文部科学省の委員等で日本のオープンサイエンス政策形成を支援し、G7科学技術大臣会合、OECD、UNESCOのプロジェクト等においてはオープンサイエンス専門家として、世界における新たな学術知を生み出す基盤のトップダウンのコンセンサスづくりに貢献。

## 三輪 哲先生



### 東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター教授

1972年静岡県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、東北大学大学院文学研究科博士課程修了（博士（文学））。東京大学社会科学研究所助手、東北大学大学院教育学研究科准教授、東京大学社会科学研究所准教授を経て、2017年4月より現職。専門分野は、社会学（社会階層論、社会調査法）。主要著作に『人生初期の階層構造』（東京大学出版会）、『日本の社会階層とそのメカニズム』（白桃書房）など。社会科学データアーカイブの運営に携わり、「オープンサイエンス時代における社会科学データアーカイブの意義」『情報の科学と技術』68巻10号、「再現性ポリシーの意義・現状・課題」『社会と調査』27号、など。

## 苫米地 なつ帆先生



### 大阪経済大学 情報社会学部 情報社会学科 准教授

博士（教育学）。東北大学大学院教育学研究科博士課程後期3年の課程を修了後、東京大学社会科学研究所助教などを経て2018年より現職。主要な研究テーマは家族構造とライフイベントの関連について。2013年度社会調査・データアーカイブ研究センター優秀論文賞（2014年）。編著書に『若者の性の現在地—青少年の性行動全国調査と複合的アプローチから考える』勁草書房、2022年）ほか。

## 辻 大士先生



### 筑波大学 体育系 助教

筑波大学大学院体育科学専攻修了、フィンランド国立ユヴァスキュラ大学ジェロントロジーリサーチセンター ポスドクフェロー、千葉大学予防医学センター 特任助教を経て、2020年より現職。

千葉大学在職時に日本老年学的評価研究（JAGES）の運営事務局を担い、現在にかけてそのデータを活用した社会疫学研究、運動疫学研究に従事。日本公衆衛生雑誌優秀論文賞、日本公衆衛生学会総会最優秀口演賞など受賞多数。

## 池田 すばる先生



### 九州大学大学院医学研究院保健学部門 学術研究員

九州大学医学部保健学科看護学専攻卒業後、日本赤十字社医療センターにて助産師として勤務。

その後、東京大学大学院医学系研究科国際保健地域学教室にて保健学修士・博士号を取得。国際保健、母子保健、母子継続ケアの利用、ケアの質を中心に研究を行う。2022年4月より現職。

本セミナーは看護基礎教育課程（大学、短期大学、専門学校等）に在籍する学生の皆さんも聴講できます！

最新の研究をのぞき、ワクワクする研究のテーマやヒントを見つけみてください  
以下のような学生の皆さんにお勧めします

- ・ 社会をよりよくしていくことに貢献している 看護学の研究を知りたい
- ・ 学部時代から研究に意欲的に取り組んでみたい
- ・ 将来、看護学の研究者を目指したい
- ・ 看護学の研究コミュニティをのぞいてみたい

